

連載

# いのち ひろば

毎月1回、中旬の水曜日に掲載

## 今月のひとこと

新型コロナウイルス感染症は風邪に似た症状や無症状のこともあります。重症化すると、死に至る危険性があります。手洗いやマスク、3密を避けるなど、感染防止に努めましょう。

## 新型コロナウイルス感染症について

小田原医師会会員 富田 さつき



世界で猛威を振るう新型コロナウイルス。5月12日現在、日本感染者数は1万6024人を死者は660人を超えています。

2019年12月に中華人民共和国内湖北省武漢市から始まった新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は世界的に拡大の一途をたどり、2020年5月12日現在で感染者数408万人、死者28万人を超えました。日本でも国内感染が拡大しており、4月7日には新型コロナウイルス対策特別措置法に基づき緊急事態宣言が発出されま

飛沫感染と接触感染の潜伏期間は1〜14日

新型コロナウイルス感染症は、感染している人の咳や会話によって生じる「しきり」を吸入したり(飛沫感染)、ウイルスが含まれる唾液や唾液などに接触した手で口や鼻、目を触ったり(接触感染)することで感染すると言われています。また潜伏期間は1〜14日、確定した患者さんのうち97.5%が11.5日以内に発症されたと報告されています。またウイルスの排出は、発症する2〜3日前より始まり、発症直後に感染力が最も強く発症後8日で感染力は大幅に低下すると言われています。

かぜ症状や無症状も重症化の人は2割弱

このように新型コロナウイルス感染症は、一見、風邪やインフルエンザによく似ていますが、症状が長く期間がそれと比べて長いという特徴があります。特に重症化する事例では、発症から1週間前後で肺炎の症状(咳、痰、呼吸困難など)が強くなっていくことが分かっています。つまり発症してから1週間程度は風邪のような軽微な症状が続く2割弱と考えられる重症化する人はそこから徐々に悪化して入院に至るといわれています(図1)。その他の症状として脳梗塞や心筋梗塞・心筋炎・不整脈など脳や心臓に疾患を引き起こすことがあります。

高齢者と持病のある人特に注意が必要

ではどのような人が重症化するのでしょうか。現在までのデータでは、65歳以上の高齢者(図2)、糖尿病、重度の肥満、喫煙、高血圧、免疫不全者(癌の治療、臓器移植、HIV感染症、ステロイドやその他の免疫抑制剤の長期使用など)、老人ホームや介護施設に住んでいる人、心疾患、呼吸器疾患、透析、慢性腎臓病、肝疾患などの持病を持つ人が重症化すると言われています(図3)。このような人は、新型コロナウイルスに感染した後に、万が一の他の検査としてアムノクロナット法など市販の抗体検査キットも出てきたり、また今のところ、感染既往を確認するには有用ですが急性期の診断には課題があると言われています。つまり「既に感染した」ということは確認できますが、「今かかっていない」ということの確認は難しいといえます。

治療法はまだ未確立 手洗いなど予防重要

そして治療です。ご存じの通り現在の所、有効なワクチンはありません。またアビガン、レムデシビル、カレトラ、オルベスコなどが治療薬の候補として臨床研究や適応外使用という形で国内外で使用されていますが、明確な有効性が確認されたい特効薬と呼ばれる薬はまだありません。

3密避けオンライン 風邪症状あれば休む

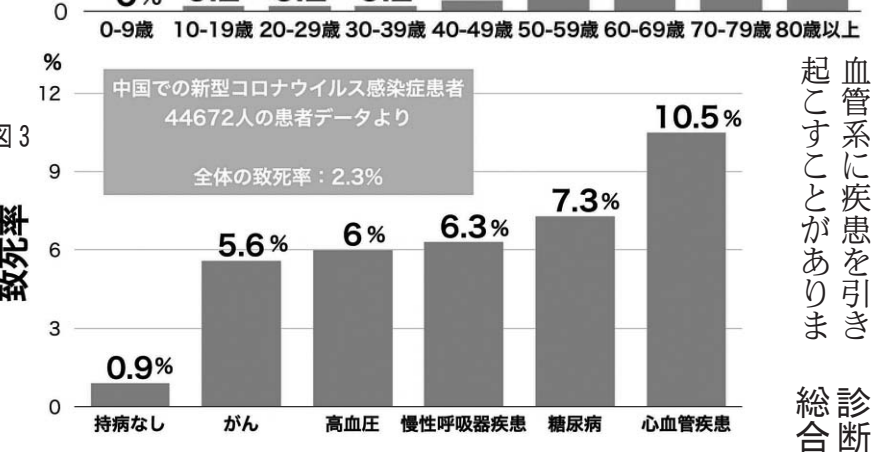
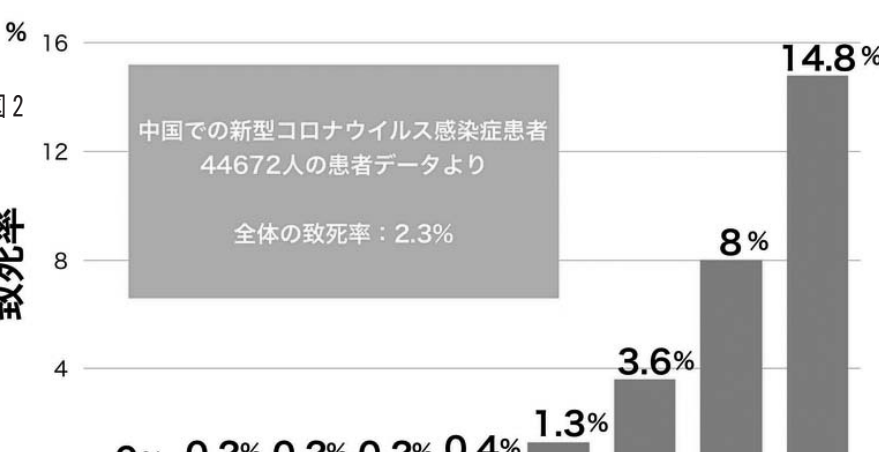
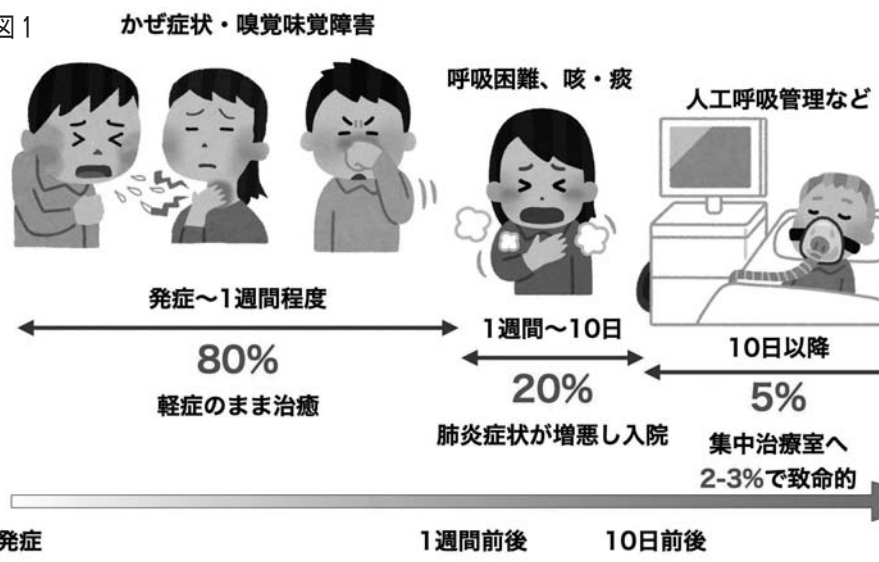
つまり「ウイルスがどこにいたのか分からない」のならば「どこでもウイルスがいない前提で考えよう」。方向に発想を変えよう。また残念ながらウイルスにかからないよう一人ひとりがそれぞれできる範囲で頑張ります。明けない夜はあります。どうぞその時までも心と力を合わせてこの危機を乗り越えて行きます。

山を乗り越え 予防に努め

このように新型コロナウイルス感染症について、まだまだ分からないことだらけです。残念ながらワクチンや特効薬が出てこない限り、現在の状況が数年にわたって続くでしょう。流行してきたら行動制限をかけるという政策を繰り返しながら1つ1つの山を乗り越えていくしかないと思います。そうして踏ん張りながら有効な治療法やワクチンが出てくるのを待つしかありません。そう、これはウイルスと人類の我慢比べです。とにかく新型コロナウイルスにかからないよう一人ひとりがそれぞれできる範囲で頑張ります。明けない夜はあります。どうぞその時までも心と力を合わせてこの危機を乗り越えて行きます。

次回6月中旬に掲載

現在、何らかの理由で通院している方は、自己判断で通院(お薬)を中断しないでください。現在治療中の病態が保てなくなると、病態そのものが悪化し、さらに体調が不安定になることで感染のリスクが高くなり危険が増します。処方薬のうけとり方はかかりつけ医と相談できますので問い合わせください。



### 新型コロナウイルスの診断で 総合的診断も必要

新型コロナウイルスの診断で、総合的診断も必要です。専門家が示した「新しい生活様式」の具体例を以下に示します。

- 外出**: マスク着用。帰宅後せっけんで丁寧に手洗い、シャワーも
- 人との間隔**: できるだけ2メートル
- 移動**: 会った人と場所を記録
- 生活**: 毎朝検温。小まめに手洗い、換気。会話時は症状なくてもマスク
- 買い物**: 少人数ですいた時間に素早く。展示品への接触控えめに
- スポーツ**: ジョギングは少人数で、距離を取ってすれ違いを
- 公共交通機関**: 会話は控え、混んだ時間避け
- 食事**: 大皿、おしゃべり、多人数会食は避け、横並びで座る
- 働き方**: テレワーク、オンライン会議励行。対面の打ち合わせは換気とマスク

また血中の抗体価が上昇していることは、過去に感染していた証拠にはなりません。この抗体価が上昇していることは、過去に感染していた証拠にはなりません。この抗体価が上昇していることは、過去に感染していた証拠にはなりません。

現在、何らかの理由で通院している方は、自己判断で通院(お薬)を中断しないでください。現在治療中の病態が保てなくなると、病態そのものが悪化し、さらに体調が不安定になることで感染のリスクが高くなり危険が増します。処方薬のうけとり方はかかりつけ医と相談できますので問い合わせください。

### 小田原医師会より住民の方へ

新型コロナウイルス感染症(名称:COVID-19)の感染拡大が危惧される中、日々、様々な情報を耳にしていると思いますが、医療機関を受診する際の注意点をお知らせいたします。

- ①現在、何らかの理由で通院している方は、自己判断で通院(お薬)を中断しないでください。現在治療中の病態が保てなくなると、病態そのものが悪化し、さらに体調が不安定になることで感染のリスクが高くなり危険が増します。処方薬のうけとり方はかかりつけ医と相談できますので問い合わせください。
- ②感染症と思われる「体調不良」がみられるとき、特に肺炎など呼吸器症状があるときは、慌てて受診せず、右記の手順でかかりつけ医または近医に問い合わせをしてください。

不安な毎日を送られていると思いますが、協力してこの窮状を乗り越えましょう。

小田原医師会

### 小田原医師会運営 新型コロナウイルス感染症対策のための おだわら予約制PCRセンター(集合検査場) 5月20日開設

小田原医師会が休日・夜間急患診療所のサテライトとして運営し、感染者の早期発見、医療機関の院内感染リスクと負担軽減で、感染を早期に見つけ、地域の医療崩壊の抑止を目指します。

開設期間: 5月20日から当面の間。  
開設日時: 毎週、月・水・金曜の午後1時半〜4時  
利用方式: 完全予約制。  
検査方式: 自動車を利用したドライブスルー方式  
検査対象: 小田原市と箱根町、真鶴町、湯河原町のいずれかが在住で、かかりつけ医などの医療機関でPCR検査が必要と判断された人  
検査件数: 当面は1日10件程度。

ご支援のお願い  
たくさんの方の感染防止の資材が必要になります。防護服の代わりとなるビニールエプロンやレインコートなどの寄付に協力いただければ幸いです。  
小田原医師会  
☎0465-35-5677

- ①症状が軽いつきは自宅療養してください  
不安があるときは、かかりつけ医療機関に電話して担当医のアドバイスを仰ぐ
- ②症状が2日以上続いたら、主治医へ再度、電話相談してください  
発熱、咳、のどの痛み、呼吸が苦しくなるなど悪化する傾向があれば電話で相談  
帰国者・接触者相談センター  
○小田原保険福祉事務所(小田原市、南足柄市、足柄下郡) ☎0465-32-8000  
○小田原保険福祉事務所足柄上センター(足柄上郡) ☎0465-83-5111

### 急病になった時は...

まず、かかりつけの医師に電話で相談してください。日頃から急病の時どうするか、かかりつけの医師と話し合っておきましょう。

かかりつけの医師が不在の場合は...

平日・土曜の昼間	地域医療連携室が医療機関をご案内 TEL.0465-47-0833
休日の昼間・夜間	小田原市休日夜間急患診療所へお電話 TEL.0465-47-0823
休日の深夜	午後10時以降は小田原消防署へお電話 TEL.0465-49-0119

医療機関検索は小田原医師会のサイトから利用できます  
<http://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/>

感染予防として、手洗い、せきエチケットにご協力ください。